



天然記念物

しょうふくじ 83. 正福寺のシダレザクラ 2樹

■指定年月日 令和2年3月26日(2020)

■所在地 若山町大坊18-甲81

■所有者 正福寺

■寸法 ・本堂側 幹周1.62m 樹高8m

・山門側 幹周(三叉)0.81m、0.83m、0.94m 樹高10m

シダレザクラは、バラ科サクラ属でエドヒガンの変種である。本州・九州から朝鮮半島にかけての温帯から暖帯に分布する落葉高木で、イトザクラともいわれる。枝が垂れる性質の遺伝子をもつと、細い枝が自重によって長く垂れ下がる。葉に先立って小振りの淡紅色の花が下向きに咲く。エドヒガンは、ソメイヨシノより1週間以上早く咲き、春の彼岸ころに咲くことから彼岸桜といわれる。またエドヒガン種は長寿でも知られており、樹齢2000年以上といわれる山高神代桜(山梨県 国天然記念物)が有名。シダレザクラは県内の在来種ではなく、また八重桜や菊桜といった多花弁の栽培品種が多数を占めており、一重(5花弁)のシダレザクラは珍しい。

本樹は、明治初年(10年頃)に本堂を建て替えた記念の植樹と伝える。小ぶりの5花弁の花を咲かせ、満開時には境内を覆い尽くさんばかりの壮観さで、多くの鑑賞者が訪れる。平成29年(2017)に台風被害を受けたため、大掛かりな枝おろしをおこなっており、樹勢の衰えが心配されている。